

# ジュニア防災検定



昨年12月に開催された第1回検定の様子。真剣にテストに取り組む小学生

いま日本列島は地震の活動期にあります。3年前、津波や原発事故で大きな被害がでた東日本大震災は記憶に新しいところです。また、19年前には兵庫県神戸市を中心に被害がでた阪神大震災も起きました。近い将来には、南海トラフ巨大地震や首都直下地震などの発生が心配されています。

- 小中学生に防災意識を高めようための「ジュニア防災検定」(一般財団法人「防災検定協会」主催、内閣府・総務省消防庁など後援)の第2回一般受検が7月6日(日)、全国7会場で開催されます。昨年に続き2年目。自分と周りの人たちの命を守ることができ「防災力」を身につける絶好の機会です。
- 申し込み締め切りは6月16日です。

【三野雅弘】

(下の写真は、昨年第1回の時に投稿された作品です)

## 身につけよう「防災力」

### ステップ1

事前課題=リポート作成

防災について家族で話し合います。「事前課題シート」に書いて、検定テストの日に会場へ提出。

### ステップ2

検定テスト=選択式、記述式

自然災害の種類、歴史や科学、社会などと自然災害の関わりについての出題。

### ステップ3

事後課題=自由研究

防災について自分で調べ、まとめてみましょう。防災マップ、防災年表、防災新聞、ポスター、作文など。

### 審査

「事前課題」「検定テスト」「事後課題」を総合評価。合格すると「J・B・Kバッジ」がもらえます。

## 家族で挑戦!



防災新聞



多くの防災新聞ができました



中学生100人が協力して大阪府全域の防災マップをつくりました

**第2回一般受検**

2014年7月6日(日)

□申し込み締め切り=6月16日(月)

□予定会場 札幌・仙台・奈良・名古屋・大塚・広島・福岡

□初級=小学校中学年~5年生程度、受検料2000円

□中級=小学6年生~中学1年生程度、受検料3000円

□上級=中学2~3年生程度、受検料3000円

ご希望の日時・会場で実施します。自治体、学校、グループごと(年齢として30人以上)などで受検できます。

詳しくは、防災検定協会のホームページで <http://www.jbk.jp.net>

そんな時代に生きる私たちに欠かれないのが、「いざという時」のための備え。「防災意識の大切さ」です。災害が起きた時に備えて、どんな準備を...

備をして、なを心がけて行動するか。それが、自分をはじめ一人でも多くの人たちの命を守ることにつながります。その一助になるのが、「ジュニア防災検定」です。



防災ポスター

てほしい、自分で考えて行動できる力を身につけてもらうことが目的なのです。

**逃げる場所 防災マップづくり**

昨年(第1回)の受検者は

4市1平高 4市1平高

4市1平高

ユニークな点は、ただ単にテストの点だけを審査の基準にしないことです。テストの前後にレポートや自由研究を提出してもらい、総合的に合否を判断します。最終的に、子どもたちに防災や減災に関心を持つことを促すためです。

**災害時の行動表を作成**

3年前の東日本大震災では、自宅周辺の道路で液状化現象が起き、「液状化」があった地域の防災マップ「避難」をつりました。お父さんと一緒に自宅周辺の写真を撮りながら歩き、地図上に避難場所や防災備蓄倉庫、自治会集会所の場所をシールを貼りました。「いろいろな場所に倉庫があって、1人の時でもどこに逃げればいいのか分かりました。地震が来たら、調べたところに逃げます」と話します。

問題作成に協力した日能研を通じてジュニア防災検定のことを知り、応募しました。事前課題では、お父さん、お母さん、お兄さんと一緒に防災について話し合いました。3年前の東日本大震災の時のことを思い出して、いつかいてもあわてないように、行動予定を表にまとめました。今、非常用袋をベッドの下に置いて、いつでも出せるようにしています。

小林亜希さん(11)